



## 新学期が始まりました。各自の進路目標を設定しましょう!!

本年度より統合して新しい南会津高等学校となり、これからは本校舎と南郷校舎の交流の機会も増えてきます。お互いが刺激しあって、良い進路結果を導き出せるよう頑張りあいましょう。

### 進路実現に向けて

新学期が始まりました。昨年度末に評定平均を計算しておくように言いましたが、各自、評定平均をもとめたのでしょうか。学校型推薦入試や特待生入試などに必要になってきます。少しでも評定平均を上げるために、日々の授業を大切にしていきましょう。また、家庭での学習時間や学習内容を検討し、有意義な時間を過ごせるようにしてください。学習時間の量を増やすとともに学習内容の質的向上を目指していきましょう。

学校教育の中にキャリア教育というものがありますが、これは社会に出た際、自立するために必要な職業人としての能力を身に付けること、働くことの意義や職業観を学ぶことで、意欲的に仕事に取り組む姿勢を身に付け、自分の考える進路を主体的に選択・決定できるようにすることを目的とします。生徒会行事や講演会、探究活動といった様々な活動において、各学年とも活動に対しての「振り返り」をまとめていると思います。結論や行動に至るまでの考え方の推移や過程を生徒自身が記述し、蓄積していくことが、将来の進路希望を仕上げていく際の材料になります。そのためにも億劫がらずに細目にメモを取ることやメモを参考に文章化することに慣れていきましょう。

スマートフォン・タブレット・パソコンを使用する時間が増えてきています。調べ学習の補助としての使用や進路希望先について情報を得るなど、自分の進路希望を実現するために有効に使えたか確認してみましょう。進路希望実現や進路目標の設定のためにも次のようなことを頑張っていきましょう。

#### ○ 手帳やカレンダーを活用し、スケジュールの自己管理をはかろう。

手元にある手帳やノートを利用してカレンダーを作成し、1日の行動や週単位・月単位の計画を把握することで時間の使い方が上手になります。朝や帰りのSHRで担任からの連絡事項や配布された行事予定をカレンダーに書き込むだけでなく、週や月ごとに予定を確認し、定期考査に向けての勉強計画や大会に向けての練習計画やコンディションづくりを考えてみましょう。

最初はどうもいかないかもしれませんが、何回か繰り返す中で自分にあった勉強計画や調整方法が見つかってきます。担任の連絡事項を聞き、それをメモでまとめる。スケジュール表を確認しながら、時間を調整し自分のやりたいこと、できることを調整していく。こういったことは社会に出れば必要になってくることです。高校生の時からスケジュール表を使い慣れていれば、予定や時間の自己管理も効率よく行うことができます。

#### ○ 自己理解を深めましょう。

- ・自分の得意なこと、続けられることを考える。(CAN)
- ・自分が意志をもってやってみたいことを考える(WILL)
- ・大きな価値を見出し、取り組めることを考える(MUST)

上記の3点を、自分なりに考えたり、詳しく調べていく中で自分の進路について、理解が深まってきます。自分が将来どのように社会に関わっていきたいか、どのような社会貢献をしたいかを考えてみましょう。最初は抽象的で形にならないかもしれませんが、繰り返し自分の将来を考えることで、少しずつ具体的な形になってきます。将来の職業がイメージできるようになったならば、その職業に就くための方策も見えてきます。

## ○ 職業や学問への視野を広げましょう。

進路関係の様々な情報が、雑誌やインターネットを通して入手できます。生徒自身が取捨選択して自分に必要な情報を得なければなりません。職業や学問への知識を広げるためにも下記の3点に注意して調べましょう。

- ・雑誌やインターネットで職業の種類や学問の分野を調べる。
- ・興味のある職業で求められる知識や能力を調べる。
- ・自分が興味を持っている社会問題や仕事と学びたい学問の関わりを考える。

## ○ 学力の向上を図ろう。

就職や進学と生徒一人一人の進路希望に違いがあります。内定や合格といった目標を達成するためにも、学力の向上を図っていきましょう。高い学力を保持できるのであれば、就職でも進学でも進路選択の幅が広がっていきます。民間企業に就職するために必要な一般常識等の知識、公務員になるために必要な知識、短大・大学の入試に必要な知識、それぞれに違いがあります。違いを踏まえた上で各自の進路実現に向けて、継続して学力を向上させる努力をしていきましょう。高い目標を設定すれば、当然ながら高い学力が求められます。努力をあきらめて安易な方向へ流れないように自分の意思を確認してください。

## ○ 高い目標を設定し、それに到達する道筋をつくっていきましょう。

大きな目標を達成するためには、小さな目標の達成の積み重ねが大事です。高校生活の3年間の中では、目標を見失ってしまったり、努力した割には成果が上がらなかったため、やる気を失ったりする場面もありえます。そのようなことが無いように、大きな目標につながる小さな目標を達成することを心がけましょう。達成することで自分に自信が持てますし、自己肯定感や達成感を持つこともやる気を維持する上で大切です。

高い目標に到達するためには、「今自分の目指している大きな目標はどのくらい達成できているか」を言語化や数値化して表現しておくことです。例えば、定期考査一週間前や定期考査中のやるべき勉強時間を決めて、計画を立てます。毎日勉強していく中で、計画通りに進んでいるかを確認し、もし遅れているのであれば、原因を探り、修正をはかります。こうした計画を立てたり、実践することが、受験勉強につながっていきます。

## ○ 進路ノートを手頃に活用しよう。

3年生には、学年をお願いして一人1冊ノートを購入してもらっています。この進路ノートを上手に活用して、自分の考えをしっかりとまとめていきましょう。

ノートにまとめていく内容としては、次のようなものがあげられます。

- ① 企業や学校について調べてきたこと。企業の経営理念、学校の教育理念などで自分が思ったこと、感じたことをまとめる。
- ② 履歴書や志望理由書に書く内容。自分が現在の希望進路を選択したきっかけや今進路実現に向けて努力していること、将来の展望などをまとめること。
- ③ 面接で聞かれることの答え。自分の長所、高校生活、趣味等をまとめること。

大事なことは、ノートにまとめたことを、記録として残しておくこと。安易に消してしまうと、自分が出した答えが、どのような添削や指導を受け、導き出したのかがわからなくなってしまう。また、残しておくことによって、自分の考え方がどのように変化していったのかをたどることができ、志望理由や将来像などの内容を深める材料にもなります。

## 朝の読書について

担任や副担任の指示がなくても、8時25分のチャイムが鳴ったならば、すぐに席について静かに読書を始めましょう。友人と話を続けていたり、席を立って本をロッカーに取りに行ったりするなど周囲に迷惑をかける行動をとらないように各自注意しましょう。10分間という短い時間ですが、心を落ち着けて集中して読書をしましょう。1年間継続して本を読むことで、多くの新しい知識や考えを蓄えることができます。読書は本の内容を疑似体験したような状態になることで、想像力が鍛えられ、関心や興味の幅が広がります。読書を楽しみましょう。